

平成 28 年 7 月 1 日
秩父産業株式会社

伸縮装置 KC-A 型 および YC-A 型の止水性能について

伸縮装置 KC-A および YC-A 型の止水試験については、現在の時点で伸縮装置の止水評価基準となるものは NEXCO 試験方法 第 4 編 試験法 438 伸縮装置の止水性能試験方法（(株)高速道路総合技術研究所刊）が普及している試験法であると考えます。

高速道路会社各社（以下ネクスコ）においては、試験法 438 で性能確認を行えば 30 年相当の止水性を保有していると評価できるとなっています。そこで、我々は、伸縮装置の止水性能を飛躍的に向上させ、ネクスコが求める、50 年相当であるフィンガージョイントの止水性能と同等とし、止水性能が万全となるよう考えました。そのため、試験法 438 は 30 年相当分の試験量であります。同一供試体に 20 相当年分の試験を追加し高ハードルである 50 年相当の止水性能が保有されていることを独自の技術で第三者機関にて実証しました。

また、止水性能を向上させた理由は伸縮装置の耐久性もさることながら、止水材としての耐久性が求められるようになり、伸縮装置部より桁下への漏水を限りなく 0 にしたいという思いからです、ご周知のとおり桁下に水が回ることで、支承回り、桁端に関する部位（桁下面、桁遊間部材）への劣化因子の著しい侵入や損傷を減らすことが目的です。特に伸縮装置取替工事は橋梁上面部からの施工で交通規制等を伴うケースが多く、すぐさま詳細点検やメンテナンスが施せる場所でないとい十分に理解したからです。

当社独自の止水技術で 50 年相当の止水性能を保有している評価となりました。

□伸縮装置止水材の伸縮性能および耐久性能証明書



KC-A 30 年

KC-A 追加 20 年

YC-A 30 年

YC-A 追加 20 年

※ 参考文献

設計要領第二集

(株)高速道路総合技術研究所

NEXCO 試験方法 第 4 編

//